

テスト勉強

校 長 武井 正明

来週火曜水曜は第1テスト、1年生の皆さんにとっては初めての定期テストです。テスト準備は順調ですか。サボったりしてませんか？おかあさん許しませんよ。

私の中学時代、母親が再三真顔で、テスト前「信じてるから」と言っていました。

私はこの言葉が「わかってるだろうな」と同じ意味で、決して鵜呑みにしてはいけない言葉だということを知っていた。勉強してないと、とにかく母親の機嫌が悪い。その頃から、自分のためではなく、母親のご機嫌取りで勉強する習慣がついてしまっていました。

それでも1年生の初めは、気合入れて頑張りましたよ。推しのあの子から「タケイって意外とアタマいいね」って言われたいもん。吉中の皆さんだってそうでしょ。もう小学校の俺は過去の話。やるときゃやるのよ、モテるためだけに。

そんな時です。松田聖子が「青い珊瑚礁」でザ・ベストテン1位を獲得したのは!!

今は家に何台もテレビがある時代ですが、昔はせいぜい2台でした。

2階に「小さいテレビ」があり、勉強の休憩時間だけは、それを見てもいいことになっていました。ザ・ベストテンは木曜9時。これを見て情報を仕入れ、翌日の学校の話題についていくのが、大体全国中学生の常識でした。

そしてその休憩をしている時に、松田聖子が初の1位を獲得したのです。

回転鏡からきょとんとした表情で、紙吹雪の中、階段を下りるキラッキラの松田聖子。司会の久米宏と黒柳徹子が、大げさな声と笑顔で彼女を迎えます。

「聖子ちゃん、実は久留米のお母さんと中継が繋がっています」「おかあさん…」

松田聖子はポロポロ涙を流す。この涙を見た瞬間、何百万人の単純な男子中高生のハートはバキューン、見事に、そしてあっけなく一瞬で撃ち抜かれた。バカだなあ…。

…おかあさん。聖子さんは責任をもってボクが守りますから…。

中1の子どもに、そんなことを思わせるのだから、松田聖子の涙には、ものすごい威力（魔力）があったわけです。

オレは完全にダメされていた。

松田聖子は「夏の扉」「風は秋色」でスターダムを駆け上り、やがて「ウソ泣き聖子」とアンチ聖子から揶揄されるようになる。聖子さん、あの涙は嘘だったのですか…

そして、秋には早くも自分の能力に限界を感じていたオレは「睡眠学習」という超魅力的な学習方法を発見することになる。これがまた悲劇（喜劇）を呼ぶことになるのだ…。

みなさん、勉強に近道はありません。真面目にやるしかないので。頑張れーっ!!